

時の動き

参院選挙の結果を受けて

新社会党中央本部書記長

長南 博邦



野党統一候補の成果

違憲の戦争法反対の声を選挙に生かし、3分の2の改憲議席を許さないと野党共闘を追求した第24回参議院選挙が終った。しかし、ついに参議院でも改憲発議に必要な議席数を許してしまった。国会は改憲発議に向けた動きが加速することを覚悟しなくてはならない。参議院でも自民党が単独過半数を確保し、おおさか維新が前進したことによってますます公明党は自民党に引きずられるであろう。

しかし、その一方で14年7月の集団的自衛権は合憲とした閣議決定、それを具体化する昨年9月の戦争法の強

行成立以来、平和と立憲主義の危機を感した諸勢力のためみない努力が野党と市民の共同統一候補方式に実り、定数1の全国32の選挙区で11勝することになり、この結果と経験は私たちのこれからの運動に勇氣と展望を与え、安倍政権にらみを利かせている。

とりわけ、沖縄県と福島県の現職閣僚をうち破つての勝利は、米軍基地問題、原発政策と被災者・復興問題で政府に不信任を突きつけるものであり、政府はこの両県民の判断を真摯に受けとめ、喫緊の課題として県民の願いを表現しなくてはならない。

TPP問題では農家が意識的に立ち

上がり、東北電力管内（東北と新潟）の7県のうち6県で野党統一候補が自民党候補を打ち破り、北海道では定数3のうち民進党が2議席を奪った。まさに農家の乱である。

新社会党は一人区の少なくない選挙区でしっかりと関わり、運動の一端を担うことができた。複数選挙区でも同様に新社会党の活動があった。新社会党はこれからも共闘運動にいつそう関わり、さらに力を注げるように組織力の拡大が重要となる。

アベ政治のやり方

一人区の実績、とりわけ接戦を演



新潟選挙区、野党統一候補、森ゆうこ最終演説

じ、勝てると期待が高まったところで、野党統一候補を求める運動がなかったら、それが実らなかったら参院選挙は悲惨な結果をもたらす、改憲の速度は早まったであろう。

他方、投票率が前回より2・1ポイント上回ったとはいえ、54・7%にとどまった。選挙中にも関わらず都知事問題に焦点を当てるなど参院選での争点を隠したともいえるテレビ報道の姿勢と、そう仕向けた自民党の思惑は、憲法前文の「正当に選挙された国会における代表者」を毀損させるものであり、暗然とさせられる。

まさに民主主義の手段を使って独裁体制を敷こうというアベ政治はナチスをほうふつとさせる。その本質は沖縄県の辺野古と高江のやり方に見て取れる。参議院選挙の結果、沖縄県には衆議院選挙区と参議院選挙区の自民党議員はゼロとなった。民意は明らかだ。しかし、参議院選挙終了直後に機動隊を大動員して高江のヘリパッド建設を強行し、辺野古新基地をめぐって県を被告にして裁判を仕掛けた。まさに民意を暴力によって圧殺しようとしているのが安倍政権である。

政治の変革に向けて

いっそうの活動強化を

たしかに改憲勢力が発議に必要な議席を占めることになった。しかし、世論は「安倍政権での改憲」や、改憲の本丸である9条改悪には反対が多数である。原発回帰など個別政策についても安倍内閣が全面的に支持されているわけではない。

とりわけ、グローバル大企業や富裕層に富が集中し、庶民を貧困と不安に陥れる格差と貧困の問題は深刻である。若者が将来に展望が開けない社会に未来はない。世界有数の経済力を民衆の生きる権利に活かそうとしない政治の変革こそ重要なのだ。

新社会党は選挙結果を受けてこの確信をますます強めている。悩み苦しんでいる一人ひとりに寄り添い、平和と暮らしの安定・向上に向けていっそう活動する。

(おさなみ ひろくに)